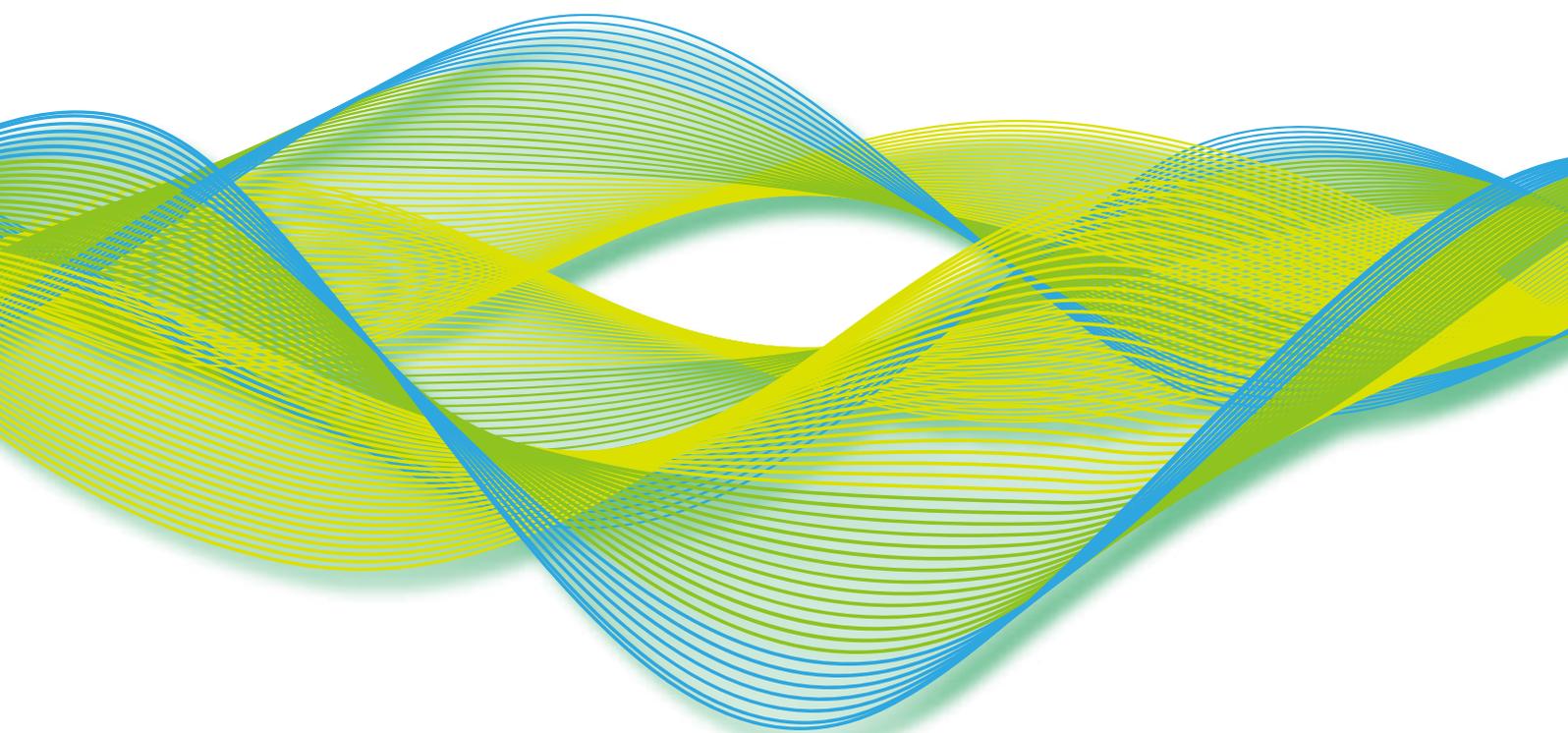




品川区の教育

品川教育ルネサンス

— *For The Next Generation* —



平成28年9月

品川区教育委員会

品川教育ルネサンス

—For The Next Generation—

品川区では、次代を担う子どもたちのために、今までの教育改革で培った成果を生かしながら、制度の見直しや施策の再構築を図り、新たな「品川教育」を創生する「品川教育ルネサンス —For The Next Generation—」を進めています。

現在、子どもを取り巻く環境は複雑化し、学校に求められる課題も多様化しています。学校は地域や環境、子どもたちの実態を的確に捉え、自ら考え主体的に判断する自律的な学校運営を行っていくことがますます重要になっています。

一方、各課題は深刻化し、もはや学校だけでは対応が困難な事例も多くなってきました。次代を生きる子どもたちのための「品川教育」を創生するには、学校が自律的な運営を行うための力を付けるとともに、保護者や地域が総がかりで課題を解決する仕組みづくりが不可欠です。

品川区の学校はもともと地域の力で始まり、地域に支えられて成長してきたという歴史的な背景をもっています。平成11年度から始まった教育改革「プラン21」についても、地域の力により大きく推進しました。

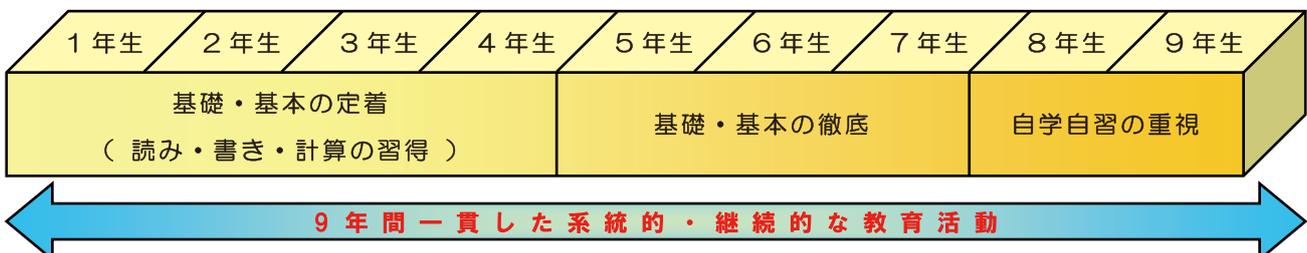
教育委員会制度の改正や義務教育学校の制度化など、学校教育は転機を迎えています。これからは、これまで培ってきた成果を再構築し、これからの時代に合った新たな「品川教育」を創生する「品川教育ルネサンス—For The Next Generation—」を推進していきます。

義務教育9年間の一貫教育

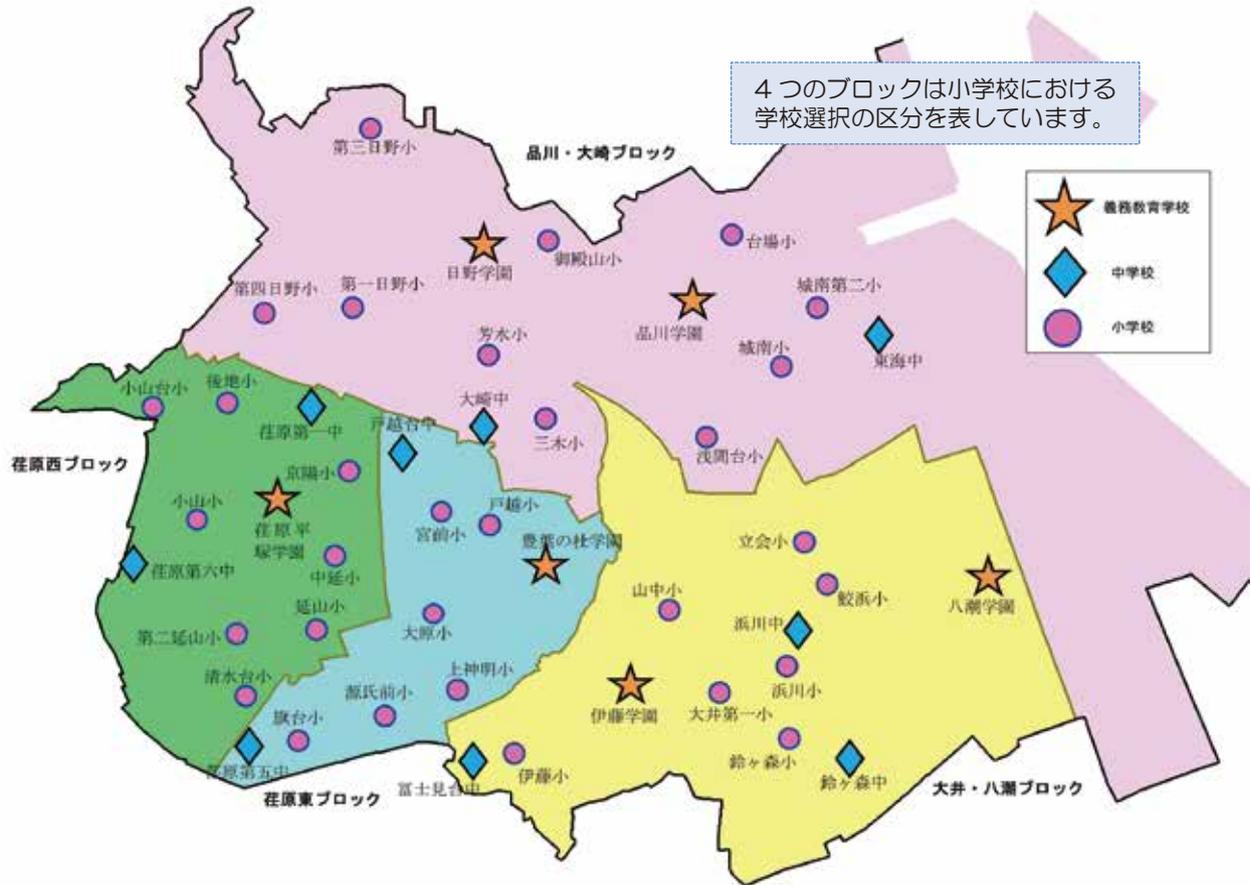
品川区では平成18年度から全国に先駆け小中一貫教育を開始しました。義務教育9年間における子どもの心や身体の発達を踏まえ、1～4年生で基礎・基本の定着を図り、5～9年生の前半にあたる5～7年生は基礎・基本の徹底に重点をおいた指導を行っています。最後の8・9年生は教科、内容の選択の幅をふやし、生徒の個性・能力を十分に伸ばす指導を行います。小学生と中学生が一つの施設で学ぶ施設一体型の小中一貫校も順次6校設置し、実践を積み重ねてきました。

以降10年が経過し、この実践は全国に広がり、平成27年6月には学校教育法の一部が改正され、これまでの小学校、中学校等に加えて「義務教育学校」が新たな校種として位置付けられました。このことを受けて、本区では品川区立の施設一体型小中一貫校6校を平成28年4月1日から「義務教育学校」として新たに設置しました。

品川区では引き続き、全ての区立小・中学校、義務教育学校で義務教育9年間の系統性や連続性を重視した一貫教育を実施していきます。



<品川区立学校配置図>



小中一貫教育要領

品川区のカリキュラムは、つまずきやすい内容や繰り返して学習する必要のある内容を整理し、義務教育9年間で、確かな学力を育めるよう工夫されています。また、1年生からの「英語科」や「市民科」など新たな学習も取り入れています。これをまとめたものが『品川区小中一貫教育要領』です。これにより、義務教育9年間の学びの系統性や連続性を明確にし、子どもの学習意欲を高め、学力の定着を図ります。

なお、文部科学省の『学習指導要領』をもとに編制していますので、転入・転出する児童・生徒についても心配はいりません。

品川区小中一貫教育要領



独自の教科書、副教科書

品川区では、教育要領によるカリキュラムをより円滑に進めるため品川区独自の教科書や副教科書などを作成しています。

教科の学習では、文部科学省の検定教科書を使用していますが、新たに加えた学習や市民科については、区独自の教科書や副教科書を使用しています。



品川区独自の教科書・副教科書 等



地域とともにある学校づくり

これからの学校は、保護者や町会・自治会、同窓会等を含めた地域の方々に、今まで以上に学校運営に主体的に参加していただき、共に学校づくりを進めていく体制が必要です。そのための仕組みとして、品川コミュニティ・スクールの実施を進めていきます。

品川コミュニティ・スクールとは？

● 目的

保護者、地域住民、学識経験者等が学校運営に参画することで、学校と地域住民が一体となり継続性を保ちながら、教育活動の改善や児童・生徒の健全育成に取り組みます。

また、地域全体で学校教育を支援することで、学校の教育活動の充実を目指すとともに、地域の人材の有効活用や地域の教育力の活性化を図ります。

● 特徴

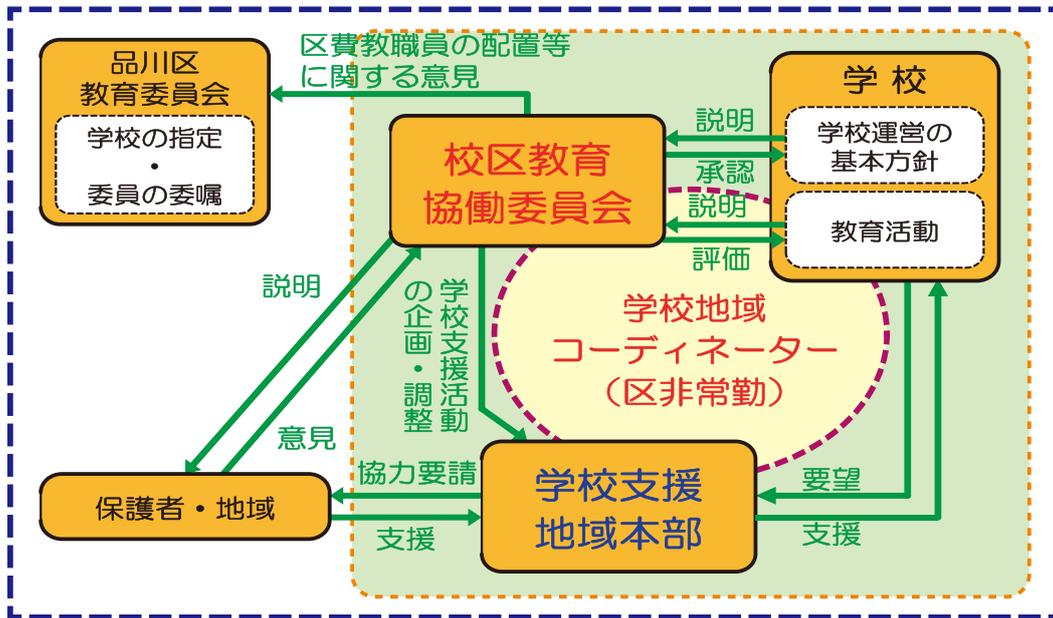
学校運営に参画する「校区教育協働委員会」と実際に学校支援を行う「学校支援地域本部」の2つの組織を同時に設置します。また、それぞれの組織の運営に関わり、学校と地域をつなぐ、学校地域コーディネーターを各学校に配置します。

品川コミュニティ・スクールを支える2つの組織



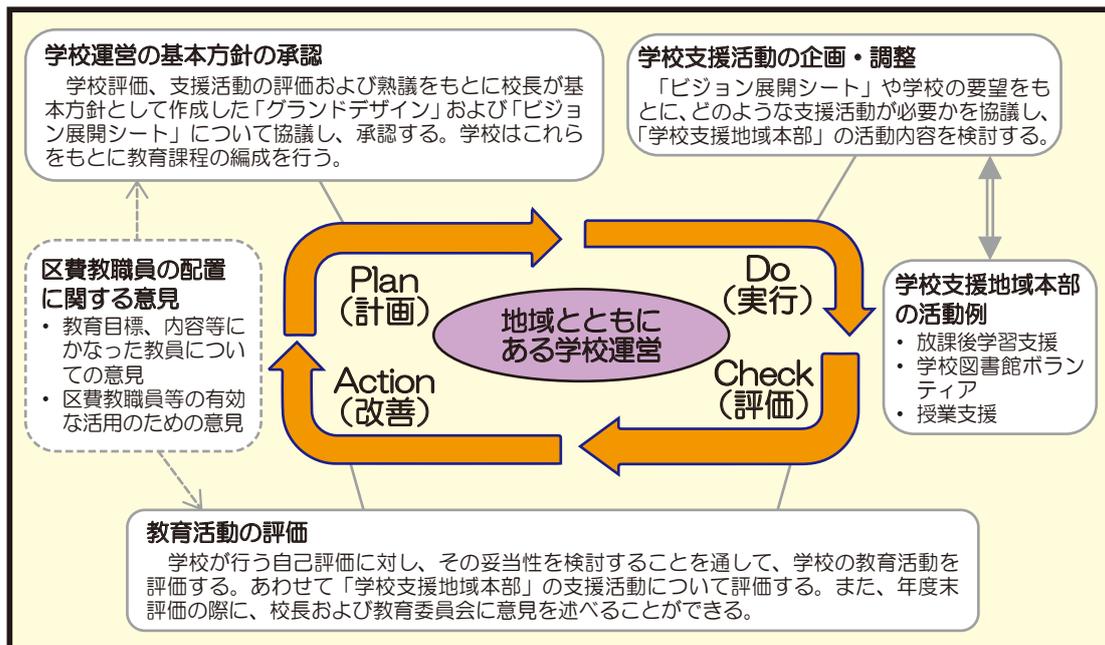
品川コミュニティ・スクールの概要

学校、校区教育協働委員会、学校支援地域本部が一体的に、学校運営の基本方針の作成および教育活動を行っていきます。学校地域コーディネーターは学校への支援活動が円滑に行われるよう、諸調整を行います。



品川コミュニティ・スクールにおけるPDCAサイクル

品川コミュニティ・スクールでは、学校運営の基本方針について、校区教育協働委員会が承認をし、学校支援地域本部の支援を受けながら教育活動を展開していきます。教育活動は、学校の自己評価および校区教育協働委員会の関係者評価により評価されます。この評価を学校の教育活動の修正に活用したり、次年度の学校運営の基本方針につなげたりすることで、学校運営のPDCAサイクルが円滑に進みます。



また、地域住民や保護者が学校運営・学校支援に参画することが制度化され、継続して行われることにより、地域の担い手となる人たちに継続的な活躍の場が生まれることとなり、地域コミュニティの活性化にもつながります。